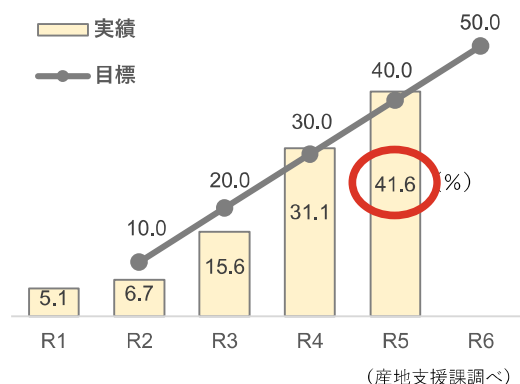


## 美味しまね認証を核としたGAPの推進



〈小売店における美味しまね認証産品販売コーナー〉

■主要品目の産出額に占める国際水準GAP取得者の割合  
【前年度1月～当該年度12月】



### ○ 主な成果

美味しまね認証制度を核としたGAPの取組を推進し、全国で初めて国際水準GAP相当の基準と認められた「美味しまねゴールド」の認証取得者が645経営体(主たる担い手の35.3%)に増加しました。また、美味しまね認証の取組を評価し、取引・支援いただける県内外の流通・販売事業者との取組が拡大しています。

### ○ 課題と今後の方向性

農業経営の改善や効率化につながるGAPの意義の周知やGAPに取り組むメリットが実感できる販売環境の構築に向け、美味しまね認証の取組を評価している流通・販売事業者との連携などによる県内外への確実な販路拡大と物流改善に取り組んでいく必要があります。

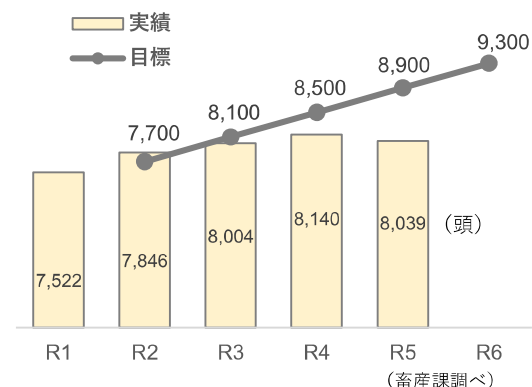
また、産地の信頼性を高め、販路拡大につなげていくためには、産地全体でリスク管理や品質管理を行うことが重要であり、団体認証の取得を進める必要があります。

## 肉用牛生産の拡大



〈子牛市場でのセリの様子〉

■和牛子牛生産頭数 【当該年度4月～3月】



### ○ 主な成果

ゲノム評価を活用し、雌牛の改良が進んだことで産子の肉質能力がアップし、肥育成績が向上しています。その成果として、第12回全国和牛能力共進会では肉質日本一を獲得しました。また、大型農場や家畜改良事業団と連携して全国トップ評価の種雄牛を造成しました。

### ○ 課題と今後の方向性

R3年からの資材高騰が影響し、新規就農者の確保が進んでおらず、子牛生産の拡大も停滞しています。県産粗飼料や放牧利用の拡大による経費の削減や、消費者から求められる牛肉を意識した改良等により、子牛や牛肉の販売拡大による収入の増加が図られる経営環境を実現することで、新たな担い手を確保していく必要があります。

## 美味しまね認証を核としたGAPの推進



〈小売店における美味しまね認証産品販売コーナー〉

■主要品目の産出額に占める国際水準GAP取得者の割合  
【前年度1月～当該年度12月】



### ○ 主な成果

美味しまね認証制度を核としたGAPの取組を推進し、全国で初めて国際水準GAP相当の基準と認められた「美味しまねゴールド」の認証取得者が645経営体(主たる担い手の35.3%)に増加しました。また、美味しまね認証の取組を評価し、取引・支援いただける県内外の流通・販売事業者との取組が拡大しています。

### ○ 課題と今後の方向性

農業経営の改善や効率化につながるGAPの意義の周知やGAPに取り組むメリットが実感できる販売環境の構築に向け、美味しまね認証の取組を評価している流通・販売事業者との連携などによる県内外への確実な販路拡大と物流改善に取り組んでいく必要があります。

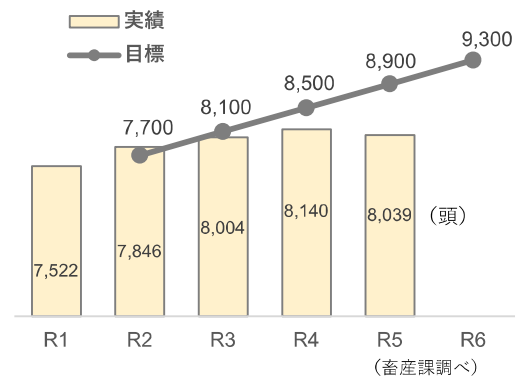
また、産地の信頼性を高め、販路拡大につなげていくためには、産地全体でリスク管理や品質管理を行うことが重要であり、団体認証の取得を進める必要があります。

## 肉用牛生産の拡大



〈子牛市場でのセリの様子〉

■和牛子牛生産頭数 【当該年度4月～3月】



### ○ 主な成果

ゲノム評価を活用し、雌牛の改良が進んだことで産子の肉質能力がアップし、肥育成績が向上しています。その成果として、第12回全国和牛能力共進会では肉質日本一を獲得しました。また、大型農場や家畜改良事業団と連携して全国トップ評価の種雄牛を造成しました。

### ○ 課題と今後の方向性

R3年からの資材高騰が影響し、新規就農者の確保が進んでおらず、子牛生産の拡大も停滞しています。県産粗飼料や放牧利用の拡大による経費の削減や、消費者から求められる牛肉を意識した改良等により、子牛や牛肉の販売拡大による収入の増加が図られる経営環境を実現することで、新たな担い手を確保していく必要があります。